

蛇尾川揚水発電所工事

発注者 : 東京電力㈱
施設所在地 : 栃木県那須塩原市
調査見学時期 : 平成 3 年

工事概要

東京電力蛇尾川揚水発電所は、昭和 61 年 10 月上ダム工事を着工して以来、平成 6 年 7 月の 1 号機 (30 万 kW)、平成 7 年 7 月の 2・3 号機 (30 万 kW×2) の運転開始を目指し、現在全体進捗率 62% (内土木 68%) とのことで現場全体が活気に満ちていた。

地下発電所は高さ 51.4m、幅 29.0m、長さ 165.0m の巨大空洞が完成し、直立する側壁、その側壁に打たれたアンカーは約 1,700 本にも及び、計器による観測システム等、“創造” の感動がひしひしとせまってくるものであった。

下ダム (コンクリート重力ダム、 $H=104\text{m}$ 、 $V=1,050\text{万m}^3$) で RCD 工法による堤体のコンクリート打設工事を見学の後、上ダム (表面しゃ水型ロックフィルダム、 $H=90.5\text{m}$ 、 $V=1,190\text{万m}^3$) のしゃ水アスファルト打設状況を見学した。上ダムは盛立てが完了し、現在 3 層目のアスファルトフェーシング中で、約 30,000 m^3 の漆黒の面の所々から立ち登る湯気と、山霧が風に流れている様子は正に圧巻であった。全体に亀裂の多い岩盤で土木工事には多くの苦労と工夫が伴ったことと推定された。(GEC ニュース第 25 号より抜粋)

